

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 木曾岬町	対談項目1 木曾岬干拓地の今後の土地利用等について	①メガソーラー事業の地域貢献について	メガソーラー事業の次なる展開をどうしていくのか、地元経済や産業にどのような波及効果をもたらすか、地域貢献の具体的な内容をお聞きしたい。	防災対策として、災害時の非常用電源として50KWの太陽光発電を設置、環境教育として、既存の池を利用して太陽光パネルを一望できる見晴台を造り、体験型の環境教育エリアとします。事業者の提案には、近隣のナガシマリゾートとの連携による観光振興もありますので、産業振興、環境教育等の地域活性化策の具体化に向けて、木曾岬町も入った「メガソーラー地域活性化研究会」の中で議論を進めていきます。
2 木曾岬町	対談項目1 木曾岬干拓地の今後の土地利用等について	②わんぱく原っぱの5年後からの活用について	都市的高度利用については、供用後5年という約束があるが、5年はすぐなので、今から本格的な土地利用の検討や企業誘致などの具体的な取組を1年でも早くお願いしたい。	平成26年度末に国道23号へ接続する道路が完成する予定ですが、それを見据えてこれまでの調査の中で、物流関係、環境関係などの企業へ、税収と雇用に結びつく観点からアプローチしています。なお、個別案件については、木曾岬町さんと情報共有しながら進めていきたいと考えています。また、全体については、「土地利用検討協議会」でみなさんと望ましい土地利用について議論を進めていきます。
3 木曾岬町	対談項目1 木曾岬干拓地の今後の土地利用等について	③アクセス道路について	伊勢湾岸道路弥富木曾岬インターへのアクセス道路がありません。現在、道路の計画、位置付けもありませんので県に前面に立っていただき具体的にアクセス道路の実現を図っていただきたい。	弥富木曾岬インターへのアクセスとして、具体的なルートを複数案で愛知県と名古屋港管理組合と協議を進めています。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 木曾岬町	対談項目2 一級河川鍋田川の管理について	①鍋田川河口部右岸堤防の耐震補強について	木曾岬海岸（鍋田川右岸堤防）ですが、木曾岬左岸堤防を国交省が高潮堤防として5年計画で河口部から国道23号線まで耐震補強を行います。それと延長線にある鍋田川右岸堤防の耐震補強を行って、安心できる堤防にしていきたい。	鍋田川の改修については、地盤沈下分のかさ上げや樋門の改築は平成18年度に完了しましたが、耐震対策は実施していませんでした。このため、耐震対策として来年度（平成26年度）に河口部から排水機場の下樋門までの地質調査を行い、どういう補強が必要なのかを検討します。
5 木曾岬町	対談項目2 一級河川鍋田川の管理について	②鍋田川の水質浄化について	鍋田川は、伊勢湾台風後に木曾川の河川改修に伴い移転し埋め立て造成されて今の形態となってから地盤沈下が進み自然排水が出来ない閉鎖性の水域となっています。鍋田川の上流と下流排水機場で強制排水しているが、水質が悪化してきているので水質改善に取り組んでいただきたい。	汚水処理・生活排水について木曾岬町は100%整備済みですが、弥富市の整備が少し遅れていることもあり、この生活排水が原因であることが大きいので、地域において取り組んでいただきたいのもさることながら、木曾岬町から水質の改善についての話を受けて、更なる生活排水の整備について、愛知県と必要な調整をしていきたいと考えています。